



にしなふみひで  
仁科文秀議員

### 大きな業績を残した茅原 基治をどう顕彰するか

議員 約百年前、当時敵国だったロシア人ら千人の命を救った市内（甲弩）出身の茅原基治の業績をどのように顕彰するのか。

市長 地元やご遺族と相談の上、墓所に顕彰碑の設置、HPへの掲載、市立図書館への展示等、顕彰活動に力を注いでいきたい。

議員 岐阜県八百津町では、第二次大戦中に六千人のユダヤ人を救出した杉原千畝の記念館をつくり町の職員を置いて長年顕彰している。同様の業績を残した茅原基治についてどう考えるか。

市長 笠岡の歴史をつくった財産であるので、しっかりと伝承し、子どもたちに伝えて笠岡の誇りにしていきたい。



### 高齢化が進む中、交通弱者をどう救うのか

議員 年々高齢化が進み、家に閉じこもりがちで高齢者が増える中、行政として今の交通弱者を救う方法はありますか。

市長 ドア・ツー・ドアでなければニーズに応えられない。市民からもタクシー利用に対する支援制度の拡充を求める意見が多かったことから、タクシー利用のチケット助成を検討している。

議員 対象者、実施時期等、具体的に考えていることがあるか。

政策部長 検討段階ではあるが、75歳以上の高齢者のうち市民税が非課税の方を対象とし、片道500円で年間50枚、25往復分を配布したい。利用は登録制とし、平成29年7月からの実施を考えている。



さいとうかずのぶ  
齋藤一信議員

### 日本遺産認定に向けた取り組みは

議員 「笠岡諸島を日本遺産認定へ」という取り組みが活発化してきている。市としての取り組み方針をたずねる。

市長 11月14日の商工会議所主催のシンポジウムで、広域連携や瀬戸内の石文化などのヒントをいただいた。今後日本遺産申請に向けて、笠岡市の歴史的魅力を伝えるストーリーを検討してまいりたい。日本遺産申請を目指す最大の目的は、地域の活性化にある。一連の取り組みによって笠岡の魅力を広く発信し、観光客が増え、笠岡が活性化するシステムができれば、今後取り組んでまいりたい。

議員 歴史文化基本構想策定にあたり、教育委員会のもと、今後審議会の設置等実務的な動きが必要と考えるが、市の考えをたずねる。



教育長 歴史文化基本構想の策定過程において、有識者や関係者の意見を聴取することは重要なことである。そのため、地域の歴史文化について知識を有する専門家、文化財関係者、市民の方、行政関係者等により構成する笠岡市歴史文化基本構想策定委員会を設置し、審議を重ねてまいりたい。また、委員会とは別に、市内の歴史文化関連団体等で構成するワーキンググループを設置し、意見交換や情報収集を行って、その成果を歴史文化基本構想に反映する計画としている。両組織は今年度中に立ち上げて、基本構想の検討を開始する予定である。

